

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year I		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year I		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	山田 直道		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nymd@rg8.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>火3限、ET学科：マス・メディアの時事的トピックを扱った教科書を用い、英字新聞を読むための入門授業として時事英語に慣れることを目指す。</p> <p>火4限、CM学科：現代イギリス口語英語をベースにした短編小説を精読かつ速読し、作者の描く世界で何が起きたかを批判的に読み解く。教科書に収められた3編の読了によって口語表現に慣れ親しむことを目指す。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
3、4限とも特に無し。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
3、4限とも特に無し。

【教科書等】
<p>3限、ET学科：ノーマ・リベラー、根間弘海著、『ニュースからヒストリーへ』 (Current History) 南雲堂、1800円+税。</p> <p>4限、CM学科：高儀進註、『ジョン・ウェイン最新短編集』(The Life Guard & Other Stories) 関文社、1100円。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- 3 限：毎時間、各ユニットの本文二編を読解し、テープを用いたディクテーション、英作文、語彙養成等を同時並行で行う。事前の予習と授業でのチェックをリンクさせた機動的な授業。
- 4 限：訳読形式。語彙の習得と発音矯正に力点を置きながら、内容を正確に読解する。受講生諸君には徹底した予習をお願いし、授業でその正誤照合を精力的に行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- 3 限：方法は、平常点（出席、授業への貢献度、発表等）が30%、期末テストが70%の割合で総合的に評価する。基準はいかにマス・メディアの英語を正確に理解し、その基礎的な知識をどれだけ習得したかに置く。
- 4 限：方法は3限と同じ。基準は現代イギリス口語英語表現にいかにか馴染んだかに置く。

【オフィスアワー：授業相談】

- 3、4限とも特に設けない。質問を適宜授業中に受け付ける。

【学生へのメッセージ】

- 3、4限とも、事前の下調べ 授業でのチェック、を徹底的かつ継続して行って欲しい。

【その他】

- 3、4限とも特に無し。